夕刊 磐城新聞
一月二十日發行
定價 一ヶ月金六十五錢 [illegible]
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八・五五六五番

私の日記から（三）

歸還一周年を迎へて

大竹庫

（三）

相當長い時間眠つたがよく眠くれる、体が疲れてゐるといふよりか船醉ひ氣味が手傳つてゐるのであらう。幾度か惡夢に襲はれつゝ海上第一夜の眼を覺す、明るに早く海はまだ眞暗だ。しかし灰かに見ゆる波の色、濁つた黄河の過ぎた事が想像された。海は靜かだが船些か動搖して來たため船醉ひの哀れな剪士が其處此處に出來る。自分も何となく醉心地を覺ゆ、野戰の張り切りも此の船上では駄目だ、硝煙彈雨の体驗を考へ出し腹に力を入れて見るもの座つてなど居られなくなり直に横になる。誰も口クに口をきく者がない。常番の朝食運びも動かうとやらぬ有樣、起つと吐くからといふのだ、實際船醉ひは氣分の惡いもの、面洗を濟すと幾分氣分快復せるも用心の爲極めて輕く朝食を攝る。それなのに終り頃には嘔吐が催して來たので大急ぎ横になつた。

約二時間睡眠をなすと大体氣分が直つたので晝食節一寸飲酒したが胃の調子依然良くなり食事美味酒に船醉に妙藥だ。

醉ひ性の連中は昨夕來一食も出來ない樣子、隨分苦しいだらうと一昨年の秋苦しんだ經驗を思ひ出し氣の毒になる。

食後甲板に出て青海原の上に雲かとまがふばかりのS島を眺める、雪が滿山を被ふてゐるのであつた、日本の島だと思ふと色々元氣が出て、苦しんでゐた連中までヨロヨロ這ひ出てくる始末。

夜も一杯傾けて陶然となく僅か一晝夜の船中ではあるが無聊なもので何か刺戟を求めないでは居られない、つれ／＼に歌など歌つたり滑稽な座興など稽古したり まづ挨拶の節などを考へたり、征くときと違つて演藝大會をやらうなどといふ張りきつてゐる戰友など全くない本當に船の生活に退屈を感じた、海の明け暮れも僅か一日に過ぎぬのに數日のおもさへある。

明日は内地に入るといふなのに、人間は我儘なもの――思へば本當に早いものだな、と思つた。

黄昏時かいよ／＼問題の玄海灘に差かゝる 風で鏡の如き海面とは云ふもの名だたる荒海だ、想像海の動搖は免れぬものと酙る者も醉はぬ自信に滿ちてる者も齊しく緊張、此の凪ぎなりか配ないヨと極めて平氣を裝つてはゐるが、其の實内心は『搖れないでくれヨ』と祈りつゝゐるのであらうが――何れも、ソロリ／＼と横になり出す、九時過ぎ時些か搖れはじめる、話しするものなし、しかし緊急したる程のこともなく、安らかな寢息か其處此處に漏る。

玄海を何時乘切れるやら判らない位靜隱な浪だ、一寸拍子拔けのするもの。

斯くていよ／＼我等の歸還船〇〇丸は太平洋にと進んで行くのだ。

今日は煙草と源氏豆が加給品だ。

1月21日

△木曾義仲戰死す（壽永三）△ルイ十六世斷頭臺に消ゆ（一七九三）△勝海舟沒す（明治三二）

爾の身、爾の事業を大きく思へ、爾のものと思はず、天の賜へしものと思へ　ドール

講談 振袖横町（ふりそでよこちやう）

（123）

須藤鐘一
荻原萬象畫

心氣一轉（七）

親分は負けた者には金を貸しもした。

それで親分のことを『貸元』とも呼んだのである。

又『貸元』は自分の縄張即ち勢力範圍内に於てだけ通用する短冊形の木札を發行した。

それを『駒』と呼んで其の出納を掌つて居た。

だから『駒』は自然『細かり』の代用品となり親分がその跡目を讓ると云ふやうな場合には『駒を讓る』と言はれたのである。

『駒』には普通三種あつた『眞木』と云ふのが一枚一貫、『金駒』と云ふのが一枚一兩、『ビタ駒』と云ふのが錢百文の通用であつた。

盆ゴザの上では現金を使用せず出張してゐる貸元、若しくは、その代人、所謂代貸元が何時でも現金に引換へて與れたのだ。

博徒仲間の作法は非常にやかましいもので、それか爲めには仲間同志で血の雨を降らすやうな事件もよく起つた。

それから博徒が一般の人々を『素人衆』と呼び、或は『堅氣の旦那衆』と呼んで非常に慇懃を極めたことである。

彼等はその仲間の作法習慣を少しでも素人衆に及ばさうとはしなかつた。

素人の方にどんな作法に違つたことがあらうともそれを取立てて彼是と苦情がましいことを言はず、又言はれもせぬのが『貸元』の貫祿であつた。

何故とならば、素人は彼等にとつては飯の種であつたからであつた。

仲間同志でばかり勝負を爭つたのでは所謂『共喰』でその場の盛る筈はないのである。

田舍のお大盡とか、豪農の倅とかが來て遊んでくれるので、場も榮わ、自然景氣もつくのである。

郷士、豪農の倅とか言ふものを面白く遊ばせることに骨折つた。

それで其處へ足を踏み入れたら病みつきとなつてなか／＼止められないのであつた。

賭博場に足を踏み入れるやうになると、なまけクセがついて正業に就く氣にはなれない。

その害は非常なものであるから役人はこれをため直さうとした。

庄兵衞は、金吾のこれほどの器量を見て此の人を跡目にしたらといふ野心も起つたが大老柳澤美濃守の立派な家臣では、どうすることも出來なかつた。

『先生』お立になるんですつてね……。わつちらも隨分お慕ひしてゐるんですがもう半年位ゐて下さいませんかね――。先生がゐなくなると、わつち共はどんなに淋しいかわかりません』

お相撲常と言ふ。庄兵衞の身内でも兄貴分の者が、金吾の離れへ來て言つた。

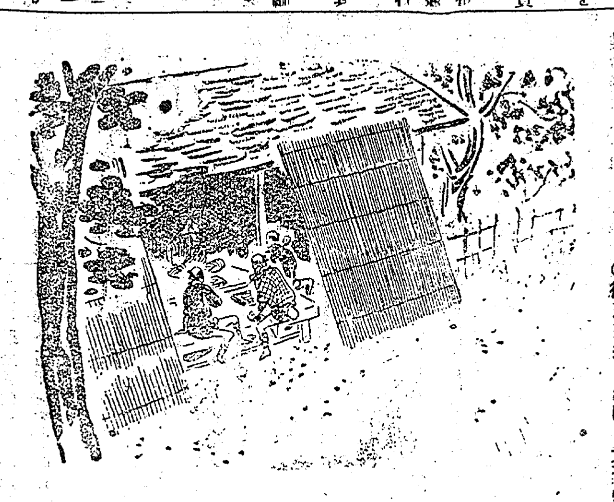
『思ひの外の長逗留を致しもうした。さうと言ふのもお前逹の竹を割つたやうな氣性が氣に入つたのでなあ――。ならうことなら武士はなど止めて、庄兵衞殿の身内になり度いと思ふてゐるくらゐなのぢやが――』

『先生、そりや本當なのですかい 若しさうなつて下さりやわつちどもは、どんなに嬉しいか分りやしませんよ さうして下さらないでせうかね』

膝を突き進めて熱心になつて、さう言つた。

『が、拙者は殿には一方ならぬ恩になつてゐる。この御恩を返さねば、犬畜生にも劣る人間とならねばならぬので、明日あたりはこゝを出發し、京大阪を巡つて、江戸に歸らねばならぬ』

『さうですかい』



廣告

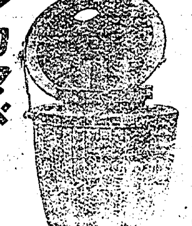
平驛前 旅館 とらや 電話六四八

「貯蓄は無盡で」 一歩一歩が富の山 社交お派しくちうぬうち 無盡かけましよう今のうち 三仟圓 磐城無盡

耳鼻咽喉科專門 平市南町一六番地 大和田醫院 電一七〇番 （入院隨意 病室完備）

一般貨物運搬 迅速低廉に御取扱ひ致します、 福好工業合資會社 代表者 強口唯七郎 自動車部 電話二八二番 砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

石綿ムシカマド
實用新案 第一八七四三〇號 意匠登錄 第六六一六七號 石山式
こんな經濟的な『かまど』は他にありません 安價な燃料で濟み、保溫力が強く堅牢で火の元絶對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たすゝめ致したい新製品で御座います。



和洋銅物 金物問屋 平市五丁目 釜屋商店

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
●時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月 隨時
卒業期間 四ケ月（高女卒程度） 十ケ月（小高卒程度）
一、洋裁科
入學は毎月 隨時
卒業期間 本科 一ケ年 速成科 六ケ月
●卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
文部大臣認可 平陽女學校 （平市 電話四四五番）

おでん お酒のあてに おけさめし
おでん 茶めし 酒の家 平市三田小路（三丁目裏） 味郷

平市田町 高久病院（電話五三一番）
内科 外科 耳鼻咽喉科 小兒科 花柳病科
醫學士 高久忠 新潟醫學士 赤羽清 藥劑士 佐竹鶴造
（看護婦至急募集）

耳鼻咽喉科專門 醫學士 鈴木正男 平市田町（電話五八番）磐田女學校前
『入院のお需めに應ず』（看護婦及び見習看護婦募集）

齒科口腔外科 日本齒科醫學士 鈴木政 鈴木醫院 内郷村高坂、磐炭病院前

平病院（平市元共濟病院跡 電話六四一番）
院主 醫學博士 鈴木定藏
内科 小兒科 院長 鈴木定藏 副院長 土井利明
内臟外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

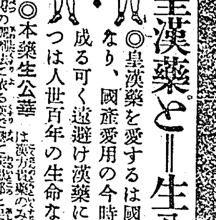
開院
内科、小兒科
醫學博士 正木信功 六丁目（五丁目交番隣） 電話四三九番
正木醫院
入院隨意 看護婦至急募集

命ガ生音 ビクターラヂオ 4R10 ¥78.00
テレビアン ナシヨナル ビクター 代理店
富永ラヂオ店 〔電四九六〕

鑑定項目
名前の運命のみて一代 何んでもわかる……
体力 肉体 疾病（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動 職業 天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功）炎厄）に關する一切
血縁 家族運 男女縁（父母の縁、夫婦の縁 子供の縁）有無（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長 鵜沼孝昌 平市紺屋町 三六

串おでん 芋鱈 お多幸
大阪名物
暫らく休ませて戴きましたが季節になりましたので、又た始めましたから御贔屓を御願いたします。
田町末廣となり お多幸

耳鼻咽喉科專門 增田醫院 增田之 平市紺屋町（吉田眼科前） 電話六五一番

漢方くすりは 生公華

皇漢藥と＝生公華
◎皇漢藥を愛するは國民の用務なり、國產愛用の今時輸入藥は成る可く遠避け漢藥に貞念を持つは人世百年の生命なり。
◎本藥生公華は漢方貴藥のみ數剤を配合獨得の調劑法に依る藥で總て疾患部と足の土踏ずに直接皮膚面に貼用す。此の藥の主成分グリコシードと卵の中のコレステリン、とを抱合した、生公華は滲透吸收し血液循環を良好ならしめ其の効力實に顯著なる名藥に付一度御試し下さい。入院中の患者でも外用なれば内服藥差支はありません 風邪・冷等には良く効きます。
此の藥は[illegible]外には有りません[illegible]で間合さるゝは[illegible]に御申込願ひます
[illegible]有りますから[illegible]公華と名稱して御求め下さい。
藥價 八〇 五入 九十五錢 四〇五 五袋入 二圓廿錢 四〇五 十袋入 四圓 代金引二十五錢增
福島縣平市五町目角 山野邊藥局

肋膜炎 氣管支炎 關節炎 神經痛 肺炎 ロイマチス
アミトー 主劑 治淋新劑 六〇七號

零下九度二分を記錄に 今年の冬も下り坂

明二十一日愈よ大寒

この冬も明二十一日が愈よ大寒である。寒も大寒が逼まつて來ると、寒氣もボツ〳〵とゆるんで晝はまよしく暖かく早春の氣配が街田園に氾濫する。西高東低の氣壓陣は朝と夜に依然たくましい肌の寒さを起させるが、ソッと忍び寄つた春の匂には白毛に頰を觸れた樣な膚の觸感からまづ「寒さももうしばらくの辛棒だ」といふ譯である

寒といふのは最も寒い期間を指すので暦の上で二十四節氣の小寒（一月六日）から一月十八日の土用そゝから一月二十一日の大寒を送り立春（二月五日）までの約一ケ月をいふのであつて日本の本土一体が一番寒い時その沿海は大寒以後最も寒くなる所も多い、しかし實際上は暦上の寒が過ぎると寒氣が略うすらいで來るもので、これはこの頃から南方低氣壓が頭をもたげて來、西の高氣壓の傾斜度が崩れかけ、謂はは冬の氣壓配陣が動搖を見せて來るからである・立春（二月五日）ともなれば南から北へ移つて來ら、大寒は「立春への序幕を展く譯だ、大寒まゝが寒さ最も酷しい

大寒は舊暦十二月の「中」に當り太陽の黃徑が三〇〇度に達する時で、雞乳とか征鳥厲疾水澤腹堅といつて支那あたりでもこの日を寒さの峠とした。

尚ほ神谷農試分場の觀測による今冬の最低氣溫は去る十一日の零點下九度二分で從來の記錄に徵すると昭和十年來の寒さであつた

× × ×

編成の大綱決り 各課仕上に專心

市の十五年度新豫算

市の十五年度新豫算は既報の如く勸業、水道兩課が既に纏つた外各課とも目下編成を急いで居り、若松市で開かれた縣下四市に對する縣當局の指示打合會に出席した伊藤助役も昨十九日歸廳愈よ編成上の大綱が決つたので各課が督勵最後の仕上げに入り大体來月初旬頃、歲出の方々濟まし次いで歲入を整へた上主任會議で更に檢討を加へ、その萬全を期するわけで今年も二月末頃市會に附議、三月上旬本會議を開く豫定になつてゐる

尚ほ歲出方面は既報の如く生產擴充を除く外は全般的に縮減、歲入之これと均衡して增税などは行はず、有力財源の一般補給金も縣の指示に基き十四年度戶數割の減税充當額の三分の二以內を限度に一廣計上することになる

小川江斷水

小川江筋は昨報市內中盬字蘭秀寺前山崩れ工事のため二十日から來月五日迄斷水される

統計に現れた 火早い石城地方

時節柄細心な注意肝要

靜岡大火の餘燼收まらぬ折に近い處では一昨夜の郡山市安積病院全燒など怖るべき刧火の呪ひは稀有の乾燥續きに警戒する人心を脅かして居るが、一体火事の被害なるものはどの位あるものか、縣警防課調査に依る昨年の統計によると

件數二七三　燒失住家三九七　非住家三五三　損害一、〇一一、六四四圓
死者五　負傷者五二

で前年より度數一回、損害二十六萬千七百五十圓、死者十三名、負傷一名の減となつてゐるが四市中平の四件は福島二件より多く、又で郡山の九件、若松の五件より少いことになつて居るが、郡としては內郷、夏井兩村など損害の大なる部に入つてゐる

尙は縣下全体の火因は取灰不始末三八　子供の弄火三五　炬燵二一　提灯置き忘れ一六　竈一一　吸殼一〇である

青年團木炭 增產に奉仕

郡下八ケ所で

郡下靑年團の木炭增產勤勞奉仕は左記八ケ所で今月から三月まで行ふことに決定、增產目標は黑炭四千二百貫白炭千六百貫で一日七ガマドを据えつけ二十名が奉仕する（カツコ內奉仕市町村）

△湯渡（渡邊、植田、磐崎、小名濱、玉川）
△入遠野（入、上遠野）
△川部（川部、山田、勿來錦）
△田人（田人外三村）
△永戶（永戶、箕輪、赤井好間）
△澤渡（澤渡、三阪）
△四倉（四倉、大久、久の濱、大野、大浦、平、草野、神谷、夏井、高久、飯野）
△川前（川前、上、下小川）

青年團神饌田經營

二千六百年記念事業決定

肇國悠久皇紀二千六百年の記念事業は地方でも各學校等に於ける奉安殿造營ないめ既報愛鄕の植樹その他夫々計畫されて居るが縣では各靑年團の奉納事業として一團一反歩平均の神饌田を設定せしむることに縣費獎勵金各團百圓宛を交付し男女團員に經營せしむる事になつた

△市町村靑年團は縣獎勵金は補助金寄附金並醵出金を加へ靑年團奉耕神饌田設定費として市町村長に寄附願出づること

△市町村は右設定費を以て相當面積の田畑を購入しこれを靑年團に無償貸與すること、但し田地の選定購入法等については靑年團の希望を重視すること

△神饌田は一反歩を標準とするも地方の情勢に應じ年次繼續計畫を樹て漸次標準に達せしむること、この場合に於ても三反步を下らざること

辭令

平稅務署屬　岩本　堅
青森へ
同　小林　治
東京監督局へ
大舘署屬　兒玉長太郎
石卷署屬　鳳城　允
平署へ

。。。。。小林屬送別會　榮轉の平稅務署法人主任前痒小林屬は石城法人稅務研究會の幹事としても盡疫少からざりし關係から同會では明二十一日午後二時から谷口樓に同氏の送別會を開催すると

ラヂヲ体操の前に 朗々と詩吟を一曲

市役所吏員の身神鍛錬

この寒空にも毎日缺かさず正午、吏員一同ラヂヲ体操に元氣のいゝところを見せてゐる市役所では、こんど有志の企により体操前に應員揃つて朗々と詩吟を一とくさり、それから四肢五体の律動に身も心もサッパリしたところで七分搗ぎのうまい國策辨當をいたゞくことにし、一昨十八日から詩吟の練習をはじめてゐる

けふ平署で 詩吟講習會

本山賢三氏を迎へ

平署では二十日島道詩吟日本の會々長本山賢三氏を迎へ詩吟講習會を開いた

市葬

市では既報の如く今二十日午後一時第三小學校で故久野春美君の市葬を執行

滿洲現地開拓視察報告

福島縣代表　志賀ナカ

（二十二）

炭層は西部四百五十尺東部五十尺で九州の五尺夕張の十八尺など迚も足元へも寄れない。

採掘も支柱掘りから露砂充塡掘へ、昭和十一年から本田考案の昇揚充塡法によつて居る

炭層の上部は流水による堆積で之れらは採炭後の塡充に使用して居る、次のグリンセールはラデームを多量に含み溫泉の原料となり石鹼製造に使用される　三段目のオイルセールは重油の原料として重要な地位を占め大工場によつて製造されつゝある

生憎の祭日で採炭の實況を見られなかつたが每日こゝに五六千の人が働くとのことである。

炭礦市街として發展の撫順も日露の當時奉天會戰に於ける鴨綠江軍の苦戰地帶で、中でも四國の十一師團及第一第二師團は渾河西岸に出て敵の眞正面から肉迫奉天に向け進擊を重ね、奉天會戰の一段落をつけた處、撫順城は滿の乾隆時代・撫城北門は日露の役に破壞され今は西門だけ昔の面影を止めてゐる

驛前に於ける琥珀　石炭細工特產、暫し吸ひつけられ午後一時奉天へ

京城――下關

夜來の風雨もからりと晴れし、一點の曇さへなく吾等一行の大陸最後の日を祝福するか、好日和にすが〳〵しい大氣をあびて午前八時三台のバスに分乘宿舍大東ホテルを出發朝鮮神宮へ向ふ、途中南大門を背景に記念撮影の上蜿蜒數町にわたる淸掃な參道の松籟を縫ひながら大鳥居前に車を捨つ、眞白き石段の碧空にくつきりと浮んで山の中復神々しき極みに宏大なる神殿は半島の鎭護として天照大神、明治天皇をお祀り申上げ遠く西北に向はせられて、滿支の空をも御守護ましまされる。

社前の展望所より眺むる市街は東南北に山をめぐらしポプラの並木の續くあり奇岩重疊の山の姿、白い岩肌を點綴する松の綠に景趣を添へて、名寶金剛山もかくやと偲ばしむ

この地はもと文化燦然たりし高麗時代、時の王は此の地の景色を賞で、離宮を作り南京と稱せしとか、これがそも〳〵都の始めである。次で現李王家の祖先に當る勇將が高麗を亡し都をこゝに定めたのであると

阿部宰相

珠雲　小野務平

沈毅經綸每愼言
拜將大命衞天閣
方今內外立岐路
果決唯知答聖恩

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晚　北の風晴
明日　北の風晴一時曇

【小名濱測候所調】

二十一日　滿潮　前〇、〇五　後一二、〇五　干潮　前八、〇〇　後六、〇〇

二十二日　滿潮　前一、一〇　後一二、一五　干潮　前九、〇〇　後七、五五

國はニッポン。魚は凍魚
日本水產特約
卸 小賣　平製氷會社（電三八・三二六）
タ ヒ　甘鯛
エ ビ　マナ鰹
白 魚　帆立貝柱
冷カツノコ　ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
平代理店 四丁目　ト印 魚問屋　電三〇八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

磐城名物
靈峰羊羹
小川鄕驛前
平 屋 賣店

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

酒トマヅイ
たでんの
榮ちやん
平市田町花ノ里
電話三三番

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
最新型フォード
入車いたしました。
是非! 御試乘の程を!
市內四丁目
スヅキタクシー
電二一七番

平みやげ
磐城平の名所地が
一目でわかる
米屋の名物最中
風味自まんの米屋の最中
平驛前通り
米屋最中
專門店

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に
先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目　玉屋

實株は買ツテ御手元へ
必ヅ儲カル優良株
投資指針
●目下投資時代
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話一九一

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

御婚禮御着附
パーマネント ウエーブ
洋和結髮　オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術
電話 六七八營業所 五二五自宅
平驛前
水野化粧院

これは便利!
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
㊙ マルミ 粉末 石鹼
製造元　平市材木町一二

故障の起らぬ AK 原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

昭和拾五年度新日記
當用日記・ポケット日記
特種日記……百數十種
新年繪はがき・年賀はがき
――年賀用各種私製はがき――
花がるた・トランプ・百人一首
◇慰問袋に一點きつと喜びます◇
日記及年賀はがき類は用品不足の折にも不拘豐富に取揃へました賣切ませんうちに御買上願ます
平市四町目（電話一二四番・三三四番）
マルトモ。柴田書店

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番